

2026 年度

<農 学 部>  
小 論 文 問 題

注 意 事 項

- 1 問題冊子は、監督者が「解答始め」の指示をするまで開いたり裏返したりしないこと。
- 2 問題冊子は全部で2ページ、解答用紙は1枚、下書き用紙は1枚である。脱落のあった場合には申し出ること。
- 3 解答用紙の所定欄に、受験番号（左右2箇所）、氏名を必ず記入すること。
- 4 解答は、すべて解答用紙の所定欄に記入すること。
- 5 解答は、「横書き」にすること。
- 6 解答以外のことを書いたときは、該当箇所の解答を無効とすることがある。
- 7 問題冊子の余白は下書きに使用してもよい。
- 8 問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ること。

本試験問題の一部あるいは全部について、いかなる方法においても複写・複製など、著作権法上で規定された権利を侵害する行為を行うことは禁じられています。



(余 白)

## 問題

生命科学技術の進歩は、医療、食料、環境、エネルギーなど、様々な分野の社会課題解決に大きな役割を果たしている。しかし、現代の課題は複雑であり、一つの学問領域だけでは対応しきれないことも多い。社会が目指す理想像や価値観に合致した課題解決には、研究開発の初期段階から、多様な関係者同士が対話、協働しながら進めることが求められる。たとえば、再生医療技術を活用するには、情報科学の専門家との協働や一般社会との倫理的、社会的な観点からの対話が欠かせない。

あなたが関心を持っている生命科学技術の例を挙げ、その技術を社会課題解決に利用するために、どのような人々と協働すべきと考えるか、理由を含めあなたの考えを600字以上800字以内（句読点を含む）で論述せよ。（200点）